

大会主題 教科化時代を迎えた道德授業の創造

10月12日(金)に、名古屋市立西築地小学校、名古屋港ポートハウス・ポートビルにて開催されました。県下及び県外から総勢682名の先生方が参加され、盛況のうちに大会を終えることができました。

公開授業

西築地小学校の3つの提案

① 教材理解の効率化! ② 心の見える化! ③ 学んだことの明確化!

各会場では、西築地小学校の先生方が「3つの提案」を基に考えた多様な授業が展開されました。授業では、子どもたち一人一人が自分の考えをもち、その考えを伝え合いながら、考えを深める姿がたくさん見られました。どの学級も、「キラリ」と輝く子どもたちの表情が印象的でした。ここでは、「3つの提案」のうち「心の見える化」について紹介します。

ポートハウス会場

4年1組
主題 世界の人々や文化に目を向けて
教材名 世界の子どものために



<心の見える化>

日本と世界の給食に目を向け、特徴や共通点、相違点などについて、短冊にまとめ、発表しました。

ポートビル会場

5年1組
主題 あきらめない心をもって
教材名 港こそわが命



<心の見える化>

児童から出された奥田助七郎氏のすばらしさの中から、どの考えに共感したかを、ネームプレートを使って、表示しました。

かもめ学級(特別支援学級)
主題 わたしのよさ
教材名 わたしのよいところ



<心の見える化>

自分の顔写真の周りに花びらの形をした「よいところカード」を貼りました。

2年1組
主題 自分と生きもの
教材名 海の生きものたち



<心の見える化>

ヒトデのぬいぐるみを使って触り方やどんな声を掛けるかを考えて動作化しました。

5年2組
主題 みんなのために働く
教材名 横浜港のガンマンの思い



<心の見える化>

グループで話し合ったことを、ミニホワイトボードにまとめ、全体で発表しました。

1年1組
主題 みんなで使うもの
教材名 きいろいペンチ



<心の見える化>

自分の考えと近い考えのところに顔写真のマグネットを貼りました。

3年1組
主題 真心を込めて
教材名 どうしていけないのかな



<心の見える化>

主人公まなみの言葉を考え、動作化で表現しました。

6年1組
主題 広い心をもって
教材名 ブランコ乗りとピエロ



<心の見える化>

心の吹き出しを使って、ピエロとサムの双方の気持ちを考え、書き表しました。



主催者挨拶

中部地区小学校道德教育研究会会長
愛知県道德教育研究会会長
名古屋市立汐路小学校長

志治 健一

本年度より、小学校において「特別の教科 道德」がスタートしました。昭和33年に道德の時間が特設されてから60年。人間で言えば還暦です。道德が生まれ変わるには絶妙のタイミングとも言えるのではないかと思います。昨年3月に告示された新学習指導要領総則には、主体的、対話的で深い学びの実現が繰り返し述べられており、道德化こそそれが必要とされているのではないかと考えております。子どもたち一人一人が、異なる環境・個性をもち、その都度異なる状況に直面しながら生きている現代において、自らの生き方について考える道德の時間が果たす役割は大きいと考えています。節目の年に行われた本大会が、参加された皆様の参考になれば幸いです。



来賓挨拶

愛知県教育委員会義務教育課長

伊藤 克仁 氏

本年度は道德教育の中核を担う「特別の教科 道德」が、小学校において全面実施されました。各小学校においてまだ手探り状態で授業を進めていることもあるかと思います。そのような中で本研究大会が「教科化時代を迎えた道德授業の創造」という主題のもと各地区の取り組みについて協議されますことは、道德教育の更なる充実に寄与するものと確信しております。ご参加された先生方には研修された成果を地元で広く還元していただくとともに、自校の子どもたちの豊かな心の育成に力強く取り組んでいただくことを期待します。

名古屋市教育委員会 指導室 主任指導主事

山田 敏晴 氏

子どもたちを取り巻く環境は様々で、これまでに、家庭・地域の中で育まれてきた価値観は一人一人違います。ここにお集まりの先生方は、学校生活の様々な場面を捉え、子どもたちの心を耕し、道德性を養う関わりを日々されていることと思います。今回の道德の教科化をチャンスと捉え、教員一人一人の意識が変わることで、道德が各学校で確実に行われ、先のない時代を生き抜く子どもたちが自己の生き方について考えを深める時間となっていくことを願っています。

研究発表

研究発表では、大会主題「教科化時代を迎えた道德授業の創造」と「西築地小学校の提案」について説明をするとともに、本大会のポイントについて紹介しました。

教科化時代を迎えた道德授業の創造について

教科化となった現在「考え、議論する」道德授業への「質的転換」が求められています。そのため、本大会では、「なかまなビジョン」に基づいた授業や「地域教材」を活用した授業など、多様な展開と指導方法の工夫を取り入れることや、新しい道德授業を追求する視点が重要と考え、大会主題を設定しました。

西築地小学校の提案について

<その1 教材理解の効率化>

「教材を事前に読む」「場面絵の提示」を取り入れ、対話的な学びの時間を十分に確保するようにしました。

<その2 心の見える化>

「自分の考えの表出」「板書の有効活用」「学習形態の工夫」など互いの考えを分かりやすくし、多面的・多角的に考えられるようにすることを目的としました。

<その3 学んだことの明確化>

授業の終末では、めあてについての自分の考えを学習シートに書かせるようにしました。「登場人物から学んだことは」「自分の考えが変化したところは」「友達から学んだことは」などの視点を子どもに示して、授業で学んだことが明確になるようにしました。

記念講演 「特別の教科 道德」に求められる授業づくりと評価 東京学芸大学教授 永田 繁雄 氏

記念講演では、東京学芸大学教授 永田繁雄氏に「『特別の教科 道德』に求められる授業づくりと評価」と題し、これからの道德科の授業づくりにおいて、大切にすべきことや改善していくことをとても分かりやすく教えていただきました。

<主体的・対話的で深い学びを実現させましょう！>

道德科の授業でこそ「なかまなビジョン」や「アクティブラーニング」を活用することは最適だと考えます。また、質の高い指導法として「自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「体験的な学習」という3つのパターンが示されていますが、これらを独立させるのではなく、それぞれを組み合わせることで多様な指導をしていくようにすることが大切です。さらに、「地域教材を活用する」や「テーマ性のある発問と場面の発問を組み合わせる」など、よりよい授業づくりを目指しましょう。

<子どもの心に届く、応援メッセージとなる評価をしましょう！>

道德科の評価は、他の教科のような観点別評価はしません。そして、価値理解ができたか、分かったかで評価するべきではありません。さらに、道德の評価では数値化をしないため、子どもが書いたシートやノートには、二重丸などをつけるのではなく、コメントを書いたり、波線を引いたりしてはいかがでしょうか。そして、評価するには、学習内容について「多面的・多角的に考えているか」「自分との関わりで考えているか」という二つの視点をもつことが大切です。「ほめる」というより「認め、励ます」という視点で評価をしてほしいと思います。

分科会



分科会では、小学校分科会（低学年・高学年）が3つのテーマ、中学校分科会が1つのテーマについて、それぞれの地区の提案や研究協議が行われました。

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 小学校 | <第1> 自己の生き方についての考えを深める道德授業の工夫 |
| | <第2> 教育活動全体を通じて行う道德教育の要となる道德授業の工夫 |
| | <第3> 家庭や地域社会、小・中との連携を活かした道德教育の推進 |
| 中学校 | 教科化時代を迎えた中学校道德授業の工夫・充実 |

<提案された内容>

- ・発問や問い返しの工夫
- ・役割演技の活用
- ・ノート活用の工夫
- ・地域教材の活用
- ・保護者や地域の方の参加型の授業 など



<参加者の声>

- 授業、分科会、記念講演と様々な面から道德について考えることができました。
- 子どもたちの考えを全て受け止める名古屋の先生の心の温かさに感激しました。
- 手探りで道德の授業を行っていましたが、今日学んだことを基に道德の授業と向き合っていきたいと思います。
- 永田先生のご講演を聞いて道德科を前向きに考えられる思考が生まれました。
- 分科会で公開授業についての協議ができるとよかったです。もっと公開授業について学ばせてほしいかったです。



◆◆名古屋市道德研究会 研究発表会のお知らせ◆◆

<日時> 1月22日（火）15：00～
<会場> 名古屋市教育館講堂
ぜひご参加ください！